

2021年10月12日
岐阜県社協主催
「福祉のまちづくりフォーラム2021」

藤沢市

「地域の縁側」を中心とした 支え合いの地域づくり



藤沢市 福祉部
地域共生社会推進室

【藤沢市の概要】

- ・面積：69.56 km²
- ・人口：442,783 人
- ・世帯数：199,486 世帯 (2022年6月1日現在)



【鉄道交通】鉄道路線の駅数

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| ・JR東海道本線 | 2 駅 | ・小田急江ノ島線 | 9 駅 |
| ・江ノ島電鉄線 | 6 駅 | ・相鉄いずみ野線 | 1 駅 |
| ・横浜市営地下鉄線 | 1 駅 | ・湘南モノレール線 | 2 駅 |

【名所・観光】

- ・江の島、遊行寺、湘南海岸、新江ノ島水族館



藤沢市の基礎情報

(2022年6月現在)

項目	
総人口	442, 783人
日常生活圏域	13地区
高齢者数	108, 547 人
高齢化率	24. 46%
介護保険認定率 (第1号被保険者)	19. 0% ※2022年3月末
地域包括支援センター	19カ所 (委託)

藤沢市のめざす姿・・・

超高齢社会の更なる進展を見据え、
地域における、「**繋がり・支えあい・助けあい**」等の
力を最大限に活かしながら、
高齢者の「住まい」を中心に、
日常生活の様々な場面において、
『地域住民』、『医療』、『介護・福祉』、『行政』等が
一体となった

地域で支えあう体制



誰もが
住み慣れた地域で
その人らしく
安心して暮らし続ける
ことができるまち

藤沢型地域包括ケアシステム

日常生活の中で抱えている不安や課題

生活困窮

仕事もなく経済的に生活できるか不安…

生活支援をして欲しいけど…福祉サービスって？

8050問題

うちの子、もう何年も引きこもってる…

病気やけがの治療が不安…退院後も…

親亡き後

うちの子、障がいがあるけど、私が居なくなったらどうしよう

親の介護はどうすればいいんだろう…

ダブルケア

これから先、一人で産んで一人で育てていくのかな…

一人暮らしなんだけど、誰か側で支えてくれないかな…

母子の孤立

子育ての話…だれか聞いてくれないかな…

お腹がすいた…あたたかいご飯が食べたいな…

子どもの貧困

妊娠、出産、子育て、介護、障がい、生活困窮、社会的孤立等、地域に住む人の抱える不安や課題は『複雑化・複合化』してきている。

これから大切なのは・・・



誰もが「支えあい」「助けあう」
ことができる社会の醸成

例えば・・・高齢者の方々・・・

70歳・80歳になっても
元気な高齢者



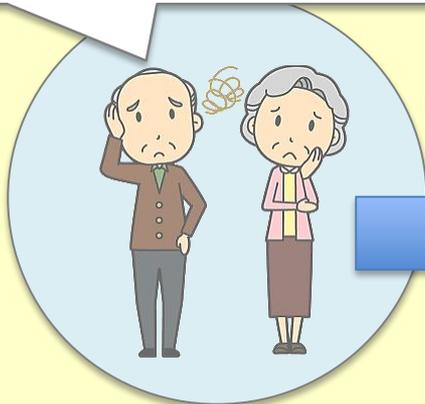
支え手

イメージとして・・・

高齢者って・・・

- 支えられる人
- 支えなければならない人
- 支援を必要とする人

支えや支援が
必要な高齢者など



地域活動への参加
↓
自身の介護予防や
重度化防止

受け手



支え手
↑
受け手

地域の縁側 ～多世代交流、まちかど相談～

誰もが気軽に立ち寄ることができ、地域の相談窓口としての機能も備えた多世代交流の場。カフェ、ミニデイ、講座、イベントなど、多様な運営主体が工夫を凝らし、地域のインフォーマルな力と協働して運営。

基本型

高齢者、障がい者、子ども等、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場。最も基本的な地域の縁側だがコンセプトは様々。

特定型

特定の世代や属性を対象とした交流の場。高齢者、子育て世代、障がい児者、がん患者と家族など。

基幹型

地区内の「地域の縁側」の中核機能を持つ、高齢者、障がい者、子ども等、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場。生活支援コーディネーターを配置し、一般介護予防事業も実施。



地域の縁側 ～多世代交流、まちかど相談～

片瀬地区



(地区ボランティアセンター：NO1.ひだまり片瀬)

藤沢地区



(地域支えあいセンター：NO.9 .ヨロシク♪まるだい)

目標

40箇所以上

↑

現在 37箇所

善行地区



(自宅開放型：NO.23 地域交流サロン「ゆい」)

長後地区



(地域支えあいセンター：NO.33 .yell (I-II))



地域の縁側 ～多世代交流、まちかど相談～

長後地区



(NO.32 おしゃべり処「大福」＝自宅開放型)

御所見地区



(NO.35 かろうそ＝法人事業拠点の活用)



村岡地区

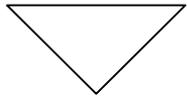


(NO.7 村岡テラス＝法人事業拠点の活用)

～キーワード～
楽しく！ゆるーくつながる

「地域の縁側」の課題

- ・住民主体
- ・限定した活動範囲



寄り添った協力者
情報の提供

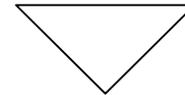
福祉関係の専門職や地域包括支援センター等とのネットワークの充実・強化も必要！

湘南大庭地区



(自治会・町内会館：NO.17 睦とものわひろば)

- ・持続可能な活動
- ・新たな担い手



3年、5年・・・
活動者と居場所

地域活動のネットワーク

連携・つながりづくり



地域の縁側



(交流スペースまっと舎主催の敬老会)

学習支援



(大庭教室)

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)



(CSWがられあいサロンに参加)

地区ボランティアセンター



(ライフタウン・ジョワ)

団地を活用した介護サービス



(小規模多機能“ぐるんとびー”)



子どもと地域の大人をつなぐ居場所
(たきのさわパラダイス)

藤沢型地域包括ケアをめざすために…行政として

- ◎身近な圏域ごとに、地域住民との**対話を重ね、距離感や温度差を縮め**、課題や取組の方向性を共有する。
- ◎専門性を強化し、関係機関等との連携により、**制度の狭間の問題も含めて**総合的な支援体制を整備する。
- ◎地域活動へのインセンティブは、活動拠点や活動資金の支援だけでなく、**一緒に寄り添い汗を流すこと**。
- ◎企業や社会福祉法人など、あらゆる民間主体に**働きかけ**を行う。

